

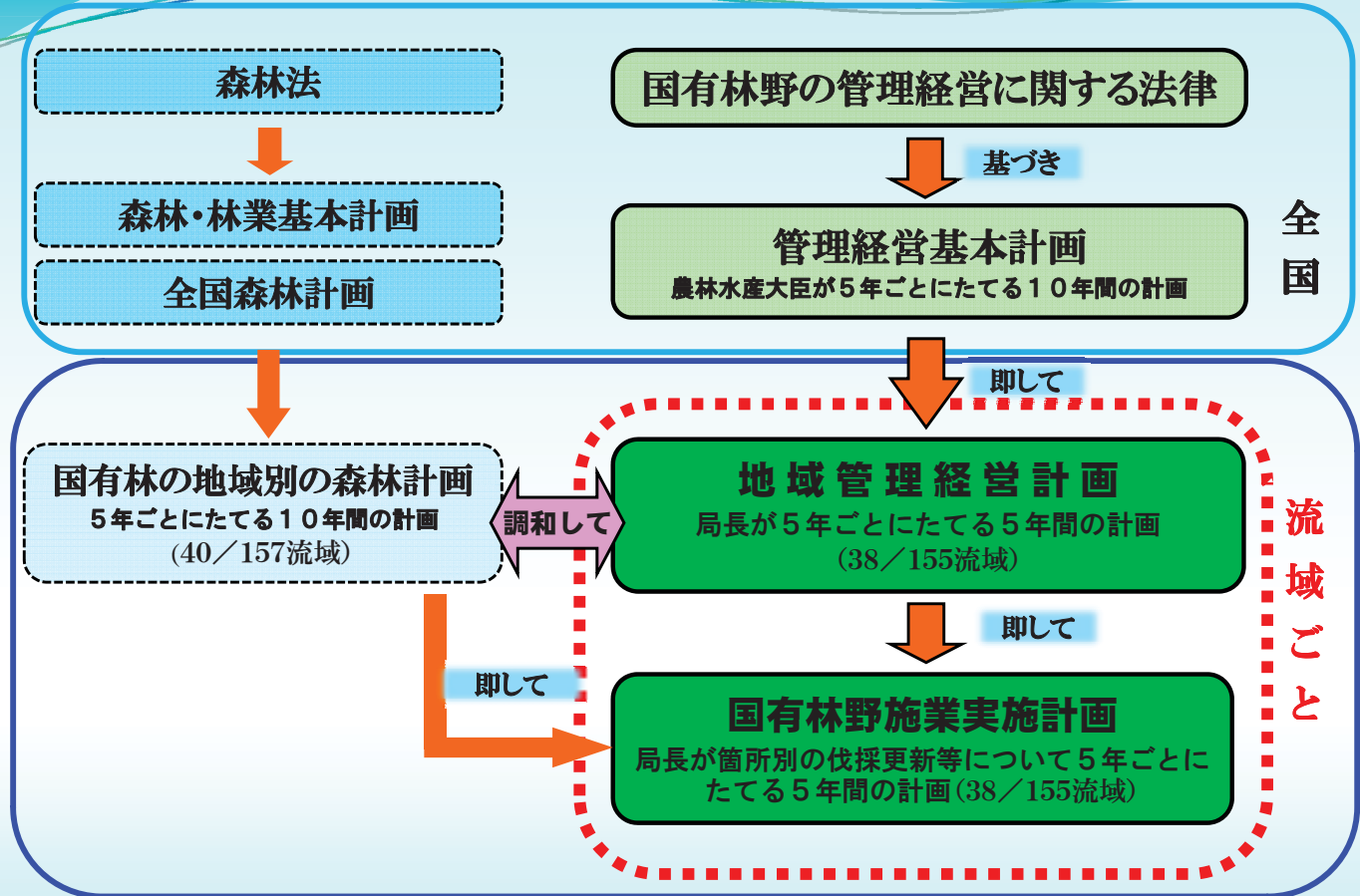
◆◇平成26年度地域管理経営計画等有識者懇談会◇◆

地域管理経営計画等の概要

近畿中国森林管理局

三瓶山風致探勝林：江の川下流森林計画区：大田市

国有林の計画制度の概要



平成26年度計画策定箇所



国有林野の管理経営

◇ 国有林野の管理経営の基本方針

● 個々の国有林野を重点的に発揮させる機能によって5つに類型化し、それぞれの機能区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を推進

山地災害防止タイプ



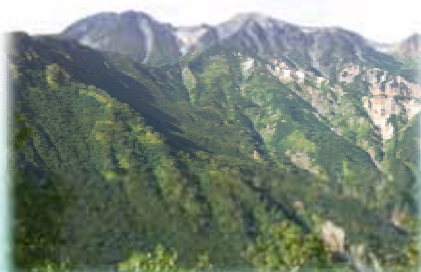
水源涵養タイプ



森林空間利用タイプ



自然維持タイプ

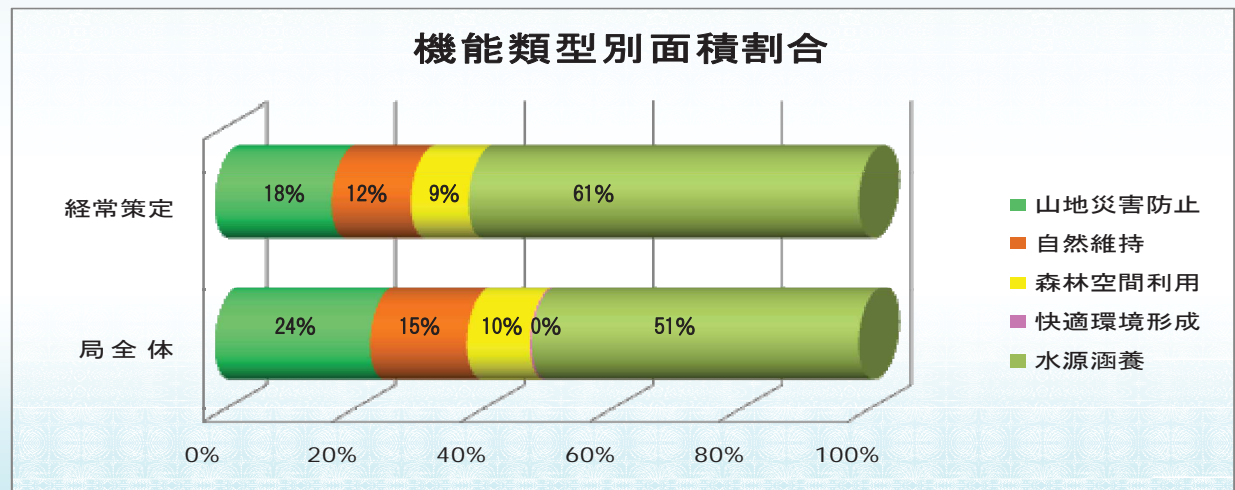


快適環境形成タイプ



◇機能類型別面積

機能類型別面積						
(単位：ha)						
機能類型	山地災害防止 タイプ	自然維持 タイプ	森林空間利用 タイプ	快適環境形成 タイプ	水源涵養 タイプ	計
経常策定	8,756	5,945	4,311	-	29,165	48,177
局全体	75,042	46,795	30,430	753	157,715	310,734



森林の流域管理システムの下での 森林・林業再生に向けた貢献

- ◇民有林と国有林が連携して森林整備等を推進
- ◇流域内で優先的に取り組むべき課題を整理
- ◇地域住民等の要望を踏まえ、主に以下の5つの事項について、取組内容を定めて実施

- ① 低コスト化を実現する施業モデルの普及と展開
- ② 林業事業体の育成
- ③ 民有林と連携した施業の推進
- ④ 森林・林業技術者等の育成
- ⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

① 低コスト化を実現する施業モデルの普及と展開

◇ 国有林と民有林の一体的な管理経営

- 効率的な作業システムとそれを可能とする路網の配置
- ロットをまとめた協調出荷、協調施業
- 地域の林業・林産業の発展に寄与



② 林業事業体の育成

◇ 林業事業体等との意見交換会の開催

- 造林・素材生産・治山・林道事業の関係事業体等を対象に、公益的機能を重視した森林施業や低コスト造林の取組、労働災害の防止、総合評価落札方式等について説明を行うなどの意見交換会を開催



③ 民有林と連携した施業の推進

◇ 森林共同施業団地

● 民有林と連携することで事業の効率化や低コスト化等が図られる区域については、「森林共同施業団地」を設定し、民有林と連結した路網の整備と相互利用、計画的な間伐の実施等を積極的に推進



府県	森林計画区	箇所
三重県	尾鷲熊野	1
京都府	由良川	1
兵庫県	揖保川	2
奈良県	北山・十津川	1
和歌山県	紀中	1
鳥取県	千代川	1
島根県	斐伊川	4
	江の川下流	11
	高津川	8
岡山県	高梁川下流	1
	旭川	1
広島県	太田川	3
	江の川上流	1
山口県	山口	2
計		38

黄色は今回策定の計画区

④ 森林・林業技術者等の育成

◇ 技術者育成研修・現地検討会の実施

◇ 市町村森林整備計画策定への支援

◇ 大学等研究機関と連携し、民有林の人材育成を支援



技術者育成研修・現地検討会の様子

⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

- ◇ 国有林野のフィールドを活用し検討会等を実施
- ◇ 市町村森林整備計画の策定や実行監理への支援
- ◇ 先駆的技術や手法についての情報発信
- ◇ 試験研究機関など関係機関との連携

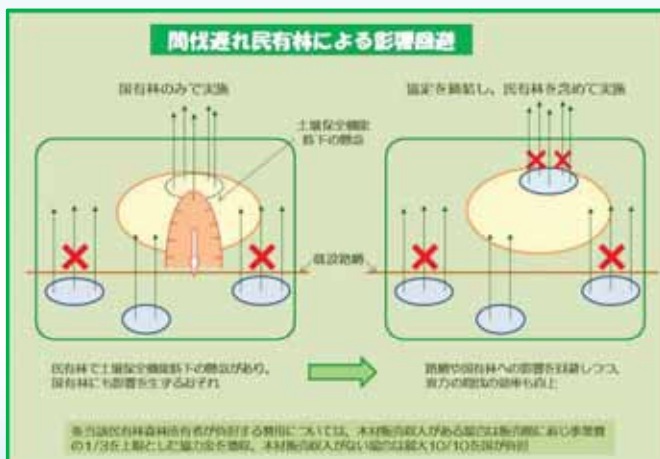


コンテナ苗による低コスト再造林現地検討会の様子

国有林野と一体として整備及び保全を行う民有林野

◇ 公益的機能維持増進協定

● 民有林の森林所有者と「公益的機能維持増進協定」を締結し、国有林野と一体的に森林の整備を実施し、双方の公益的機能の発揮に寄与



奈良・高取地域公益協定(民有林状況)

計画の概要

◇主要事業の計画総量

内 訳	新 計 画	現 計 画	増 減 率
主 伐	312千m ³	116千m ³	269%
間 伐	776千m ³	757千m ³	103%
更 新	867ha	325 ha	267%
林道(開設)	12,912 m	42,940 m	30%
林道(改良)	490 m	8,909 m	6%
治山(保安施設)	119箇所	100箇所	119%
治山(保安林整備)	546ha	438ha	125%



主伐計画林分
(江の川下流:程原国有林:美郷町)



林業専用道
(江の川上流:亀谷山国有林:安芸高田市)



山腹工施工地
(日野川:大山国有林:大山町)

◇現計画に対する実績

種 類	現計画	実 績	実施率
主 伐	116 千m ³	83 千m ³	72 %
間 伐	757 千m ³	619千m ³	82 %
更 新	325 ha	58 ha	18 %
林道(開設)	42,940 m	5,682 m	13 %



間伐実行箇所
(江の川上流:津々良山国有林:安芸高田市)



更新箇所
(山口:岩倉国有林:山口市)



更新箇所
(江の川下流:今山国有林:美郷町)

国有林野の維持及び保存

◇森林保全管理



クリーン活動
(江の川上流:犬伏山国有林:安芸高田市)



山火事警防横断幕の設置
(円山川:畑ヶ平国有林:新温泉町)

◇森林病虫害等被害対策



マツの保全を図るための樹幹注入
(山口:滑山国有林:山口市)



カシノナガキクイムシ被害木の燻蒸処理
(円山川:本谷奥国有林:香美町)

◇保護林

本計画において

「植物群落保護林」
5haを新設 (円山川)

「植物群落保護林」
9haを拡充
(江の川下流)



植物群落保護林新設箇所
(円山川:水山国有林:香美町)



植物群落保護林拡充箇所
(江の川下流:花の谷国有林:美郷町)

種 類	経常計画		局全体 (参考)	
	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
森林生態系保護地域	1	2,012	3	11,633
森林生物遺伝資源保存林	—	—	3	3,012
林木遺伝資源保存林	4	114	21	937
植物群落保護林	11	1,120	44	4,132
特定動物生息地保護林	—	—	6	1,440
特定地理等保護林	—	—	1	30
計	16	3,246	78	21,183



大山森林生態系保護地域
(日野川:大山国有林:大山町)

◇緑の回廊

●個々の保護林等を連結し、効果的に森林生態系を保護・保全

森林計画区	名称	延長 (km)	面積 (ha)	備考
湖北	越美山地緑の回廊	6	2,011	越美山地緑の回廊全体 66km 24,483ha
円山川	東中国山地緑の回廊	10	1,119	東中国山地緑の回廊全体 42km 7,061ha



東中国山地緑の回廊
(円山川:奥山国有林:養父市)



東中国山地緑の回廊ワークショップ

◇ニホンジカへの被害対策



防護柵の設置
(江の川上流:大土山国有林:安芸高田市)



移動式組立囲柵によるシカ捕獲
(大阪:箕面国有林:箕面市)

◇巨樹・巨木の保全



三本杉 (山口:滑山国有林:山口市)

林産物の供給

◇低コストで効率的な木材の生産 (列状間伐＋高密度路網＋高性能林業機械)

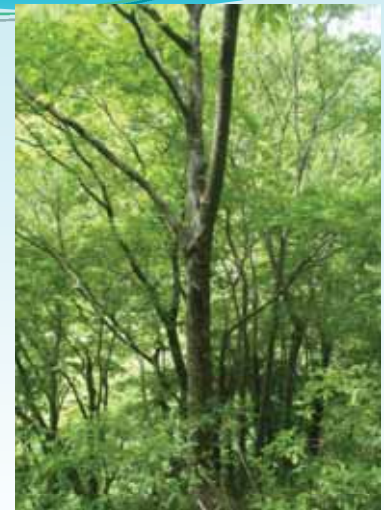


◇木の文化を支える森林づくり

●歴史的木造建造物の維持・修繕のために必要な修復用材の持続的な供給に備えて「文化財継承林」を設定



文化財継承林〔クスノキ〕
(大阪：楊梅山国有林：高槻市)



文化財継承林〔ケヤキ〕
(湖北：上谷山国有林：長浜市)

種類	箇所	面積(ha)	設定箇所(森林計画区：国有林)
文化財継承林 〔ケヤキ〕 〔クスノキ〕 クリ	13	84.44	湖 北：上谷山 大 阪：箕面、楊梅山 江の川下流：会下、程原、 三ツ石山 江の川上流：七ヶ所山、宇遠木山、 甲野村山 山 口：滑山

国有林野の活用

◇保健・文化・教育的な活動への利用の推進

●「レクリエーションの森」を設定し、広く国民の利用に提供



奥伊吹野外スポーツ地域
(湖北：奥伊吹国有林：米原市)



明治の森箕面自然休養林
(大阪：箕面国有林：箕面市)



鏡ヶ成風景林
(日野川：鏡ヶ成国有林：江府町)

種 類	経常計画		局全体（参考）	
	箇所（計画区 箇所）	面積(ha)	箇所	面積(ha)
自然休養林	2（大阪2）	878	9	6,035
自然観察教育林	2（江の川下流1・江の川上流1）	256	15	1,420
風致探勝林	1（江の川下流1）	478	7	1,737
森林スポーツ林	1（江の川上流1）	37	3	304
野外スポーツ地域	3（湖北1・日野川1・江の川下流1）	456	10	1,665
風景林	16（円山川7・日野川3・江の川下流2・江の川上流2・山口2）	1,492	85	10,584
計	25	3,596	129	21,744

国民参加による森林の整備

◇自主的な森林整備等へのフィールドを積極的に提供

◇森林環境教育を推進

種 類	箇所	面積 (ha)	設定箇所 (森林計画区：国有林)
ふれあいの森	9	382.68	大 阪：箕面、楊梅山 円 山 川：畑ヶ平 日 野 川：大山、鏡ヶ成 江の川下流：三瓶山 江の川上流：釜ヶ峰山 山 口：滑山
社会貢献の森	3	54.02	大 阪：箕面、本山寺山 江の川上流：湯船山
多様な活動の森	4	14.03	円 山 川：桑ヶ仙 江の川下流：花の谷、道小、 大江高山



ふれあいの森における森林教室
(江の川上流：釜ヶ峰山国有林：庄原市)








オオクワガタの棲める森づくりにお
ける子供達の下刈作業
(大阪：箕面国有林：箕面市)

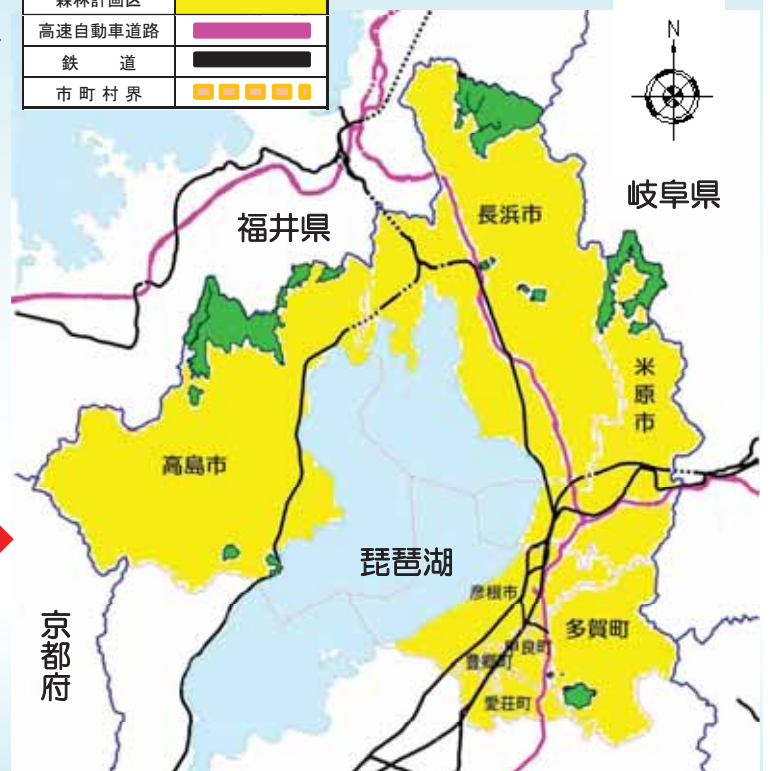
湖北森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 10,239ha

- 山地災害防止タイプ 50%
- 自然維持タイプ 27%
- 森林空間利用タイプ 4%
- 水源涵養タイプ 19%

凡	例
国有林	
森林計画区	
高速自動車道路	
鉄道	
市町村界	



保護林

植物群落保護林 2箇所 605ha



キンコウカ



モウセンゴケ



三国山湿原植物群落保護林
(山田山国有林：高島市)



上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林
(上谷山国有林：長浜市)

緑の回廊

越美山地緑の回廊 66km 24,483ha
 湖北計画区分 6km 2,011ha



福井県
近畿中国森林管理局管内

大野市

池田町



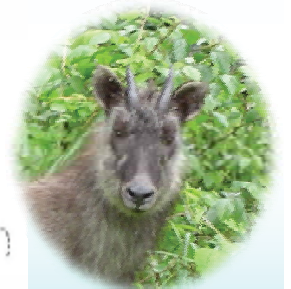
ツキノワグマ

南越前町

冠山

能郷白山

平家岳



ニホンカモシカ

上谷山ブナ・ミスナラ
植物群落保護林

揖斐川町

本巣市

岐阜県

中部森林管理局管内

緑の回廊
保護林

滋賀県

レクリエーションの森

野外スポーツ地域 1箇所 316ha



奥伊吹野外スポーツ地域（奥伊吹国有林：米原市）

大阪森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 1,036ha

森林空間利用タイプ 99%
水源涵養タイプ 1%



箕面川ダムより望む箕面国有林（箕面市）

凡	例
国有林	
森林計画区	
高速自動車道路	
鉄道	
市町村界	



森林環境教育の推進

遊々の森 1箇所 28ha

オオクワガタの棲める森づくり



下刈り作業を体験する子供たち
(箕面国有林：箕面市)



植え付け作業を体験する子供たち
(箕面国有林：箕面市)

木の文化を支える森づくり

文化財継承林 2箇所 1ha



クスノキ（楊梅山国有林：高槻市）



ケヤキ（箕面国有林：箕面市）

レクリエーションの森

自然休養林 2箇所 878ha



紀泉高原自然休養林
（紀泉高原国有林：阪南市、岬町）



明治の森箕面自然休養林
（箕面国有林：箕面市）

円山川森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 4,296ha

山地災害防止タイプ	27%
自然維持タイプ	6%
森林空間利用タイプ	13%
水源涵養タイプ	54%



保護林

植物群落保護林 4箇所 259ha



古千本スギ（奥山国有林：養父市）



木地屋敷敷ブナ植物群落保護林（水山国有林：香美町）

保護林の新設

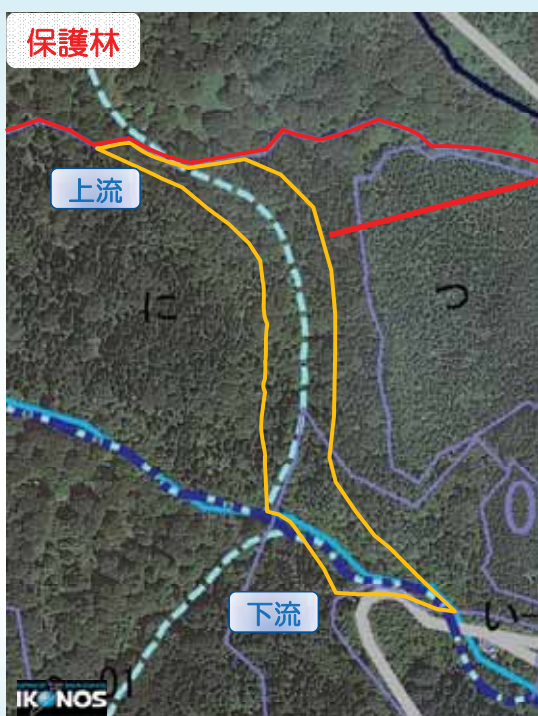
水山ブナ・ナツツバキ
植物群落保護林の新設 5.04ha



水山ブナ・ナツツバキ植物群落保護林（水山国有林：香美町）

溪畔保全プロジェクト林

設定区域 2.38ha、530m



溪畔林の状況（奥山国有林：養父市）

レクリエーションの森

風景林 7箇所 546ha



畑ヶ平懸崖風景林（畑ヶ平国有林：新温泉町）



お面ヶ滝

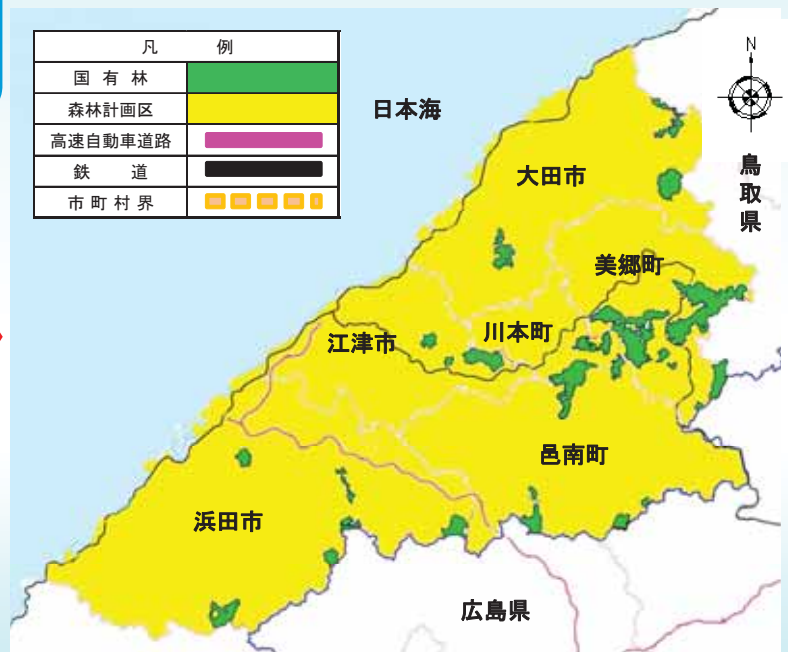
江の川下流森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 10,415ha

- 山地災害防止タイプ 9%
- 自然維持タイプ 2%
- 森林空間利用タイプ 9%
- 水源涵養タイプ 80%

凡	例
国有林	
森林計画区	
高速自動車道路	
鉄道	
市町村界	



伐採計画

主伐 267ha 67,383m³
(現計画量 96ha 33,637m³)

間伐 2,256ha 201,593m³
(現計画量 2,171ha 185,412m³)



主伐（皆伐）箇所（今山国有林：美郷町）52年生



間伐箇所（栃谷国有林：邑南町）39年生

保護林

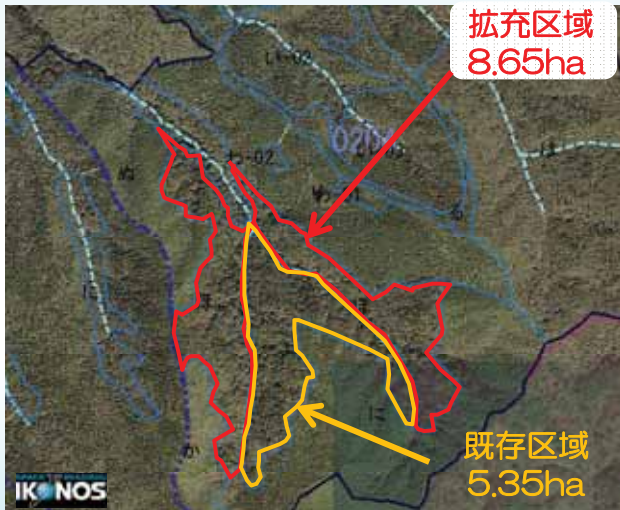
林木遺伝資源保存林 1箇所 45ha
植物群落保護林 3箇所 178ha
計 4箇所 223ha



三瓶山自然林植物群落保護林（三瓶山国有林：大田市）
ブナ、ミズナラ、クリ等の天然林の保護

保護林の拡充

花の谷シャクナゲ植物群落保護林
5ha⇒14ha (9haの拡充)



花の谷シャクナゲ植物群落保護林（花の谷国有林：美郷町）

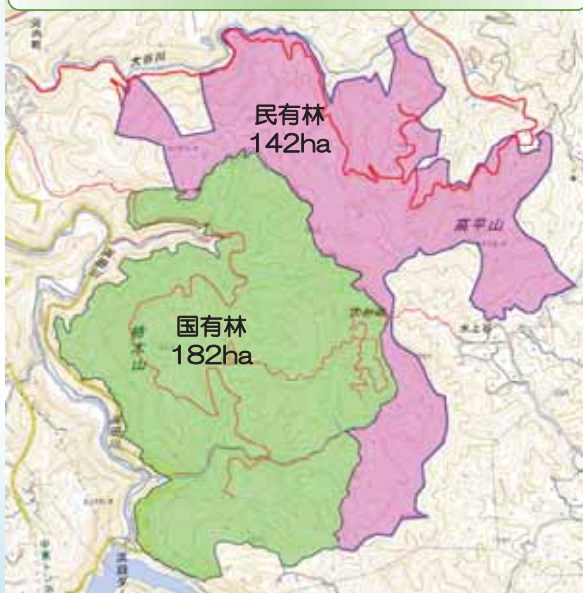
森林共同施業団地

11団地 民有林 2,213ha
 国有林 1,211ha
 計 3,424ha



森林共同施業団地運営委員会の様子

柿木山地域森林共同施業団地



間伐実施箇所（柿木山国有林：浜田市）

日野川森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 5,687ha

山地災害防止タイプ	4%
自然維持タイプ	41%
森林空間利用タイプ	20%
水源涵養タイプ	35%



保護林

大山森林生態系保護地域
1箇所 2,012ha



大山西壁（伯耆富士）
（大山国有林：大山町）



ブナ等を中心とした貴重な生態系
（大山国有林：大山町）

保護林

大山森林生態系保護地域
1箇所 2,012ha



特別天然記念物
ダイセンキャラボク純林
(大山国有林：大山町)



ダイセンキャラボクの結実
(大山国有林：大山町)

治山事業

溪間工 47箇所
山腹工 2箇所



三の沢堰堤 (大山国有林：大山町)



間伐材の治山事業での積極的利用
(大山国有林：大山町)

カシノナガキクイムシの防除

H25 大山国有林外一帯
被害木142本 材積153.33m³



ナラ枯被害木の伐採搬出状況
(大山国有林：大山町)



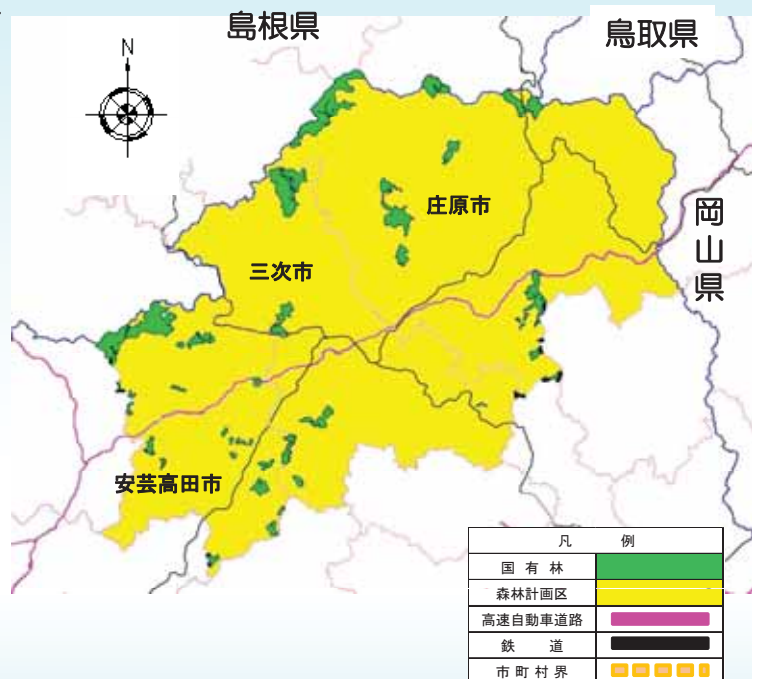
被害木の伐採及び根株被覆処理状況
(大山国有林：大山町)

江の川上流森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 12,402ha

山地災害防止タイプ	9%
自然維持タイプ	2%
森林空間利用タイプ	2%
水源涵養タイプ	87%



伐採計画

主伐 522ha 165,824m³
(現計画量 186ha 49,506m³)

間伐 2,786ha 307,881m³
(現計画量 3,337ha 339,839m³)



主伐（皆伐）箇所（鉦原山国有林：庄原市）58年生



間伐箇所（ヒナ山国有林：庄原市）43年生

民国一体の管理経営



甲野村山地域森林共同施業団地
民有林475ha
国有林403ha
計 878ha



路網現地検討会の様子（甲野村山国有林：庄原市）

ふれあいの森

1箇所 12ha



森林散策（釜ヶ峰山国有林：庄原市）

山口森林計画区

計画区の概況

国有林野面積 4,107ha

山地災害防止タイプ	2%
自然維持タイプ	2%
森林空間利用タイプ	3%
水源涵養タイプ	93%



伐採計画

主伐 173ha 67,269m³
(現計画量 114ha 32,013m³)

間伐 1,036ha 104,495m³
(現計画量 1,095ha 98,376m³)



主伐（皆伐）箇所（滑山国有林：山口市）60年生



間伐箇所（滑山国有林：山口市）41年生

保護林

林木遺伝資源保存林 2箇所 64ha
植物群落保護林 1箇所 3ha



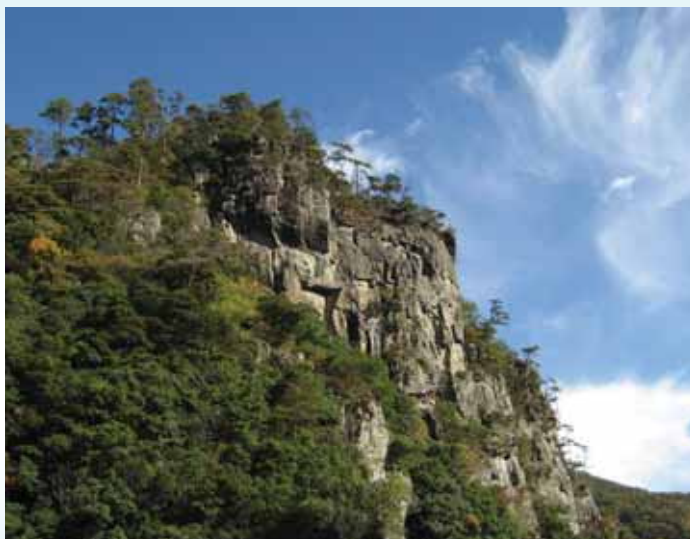
滑山林木遺伝資源保存林（滑山国有林：山口市）



滑マツ保存会との現地調査（滑山国有林：山口市）

レクリエーションの森

風景林 2箇所 117ha



長門峡風景林（長門峡国有林：山口市）



滑山風景林（滑山国有林：山口市）

変更計画の概要

◇平成26年度変更計画箇所



1 伐採総量の変更

木材等資源の効率的な循環利用を考慮しつつ、地球温暖化防止森林吸収源対策の一層の推進を図るための主伐・間伐の追加による伐採総量の見直し

2 更新総量の変更

主伐の追加に伴う更新総量の見直し

3 林道の開設及び改良総量の変更

森林整備をさらに進めるための林業専用道の開設及び林道の改良

4 治山に関する事項の変更

山腹工及び保安林の整備のための本数調整伐の追加

5 フィールドの提供に関する変更

「ふれあいの森」、「多様な活動の森」、「遊々の森」の新たなフィールドの追加

6 保護林の新設

特定の水生動物の繁殖地、生息地の保護を図るための新たな保護林の設定



新設保護林の全景



水生動物(ヤマトイワナ)

◇公告縦覧期間

1月6日～2月5日（30日間）

◇府県知事、市町村長への意見聴取

2月6日～2月17日

◇計画策定

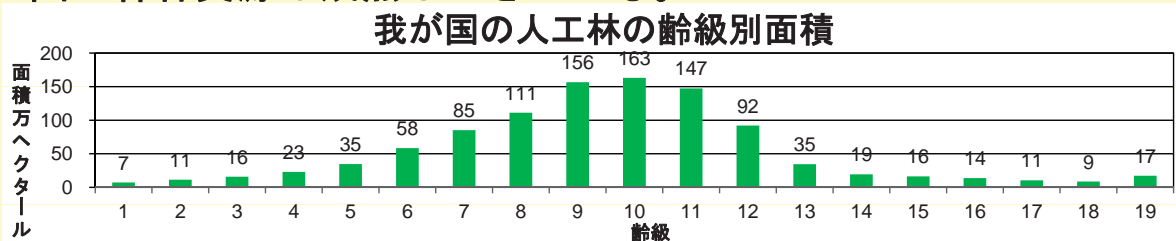
3月下旬

主伐及び主伐後の再造林の推進について

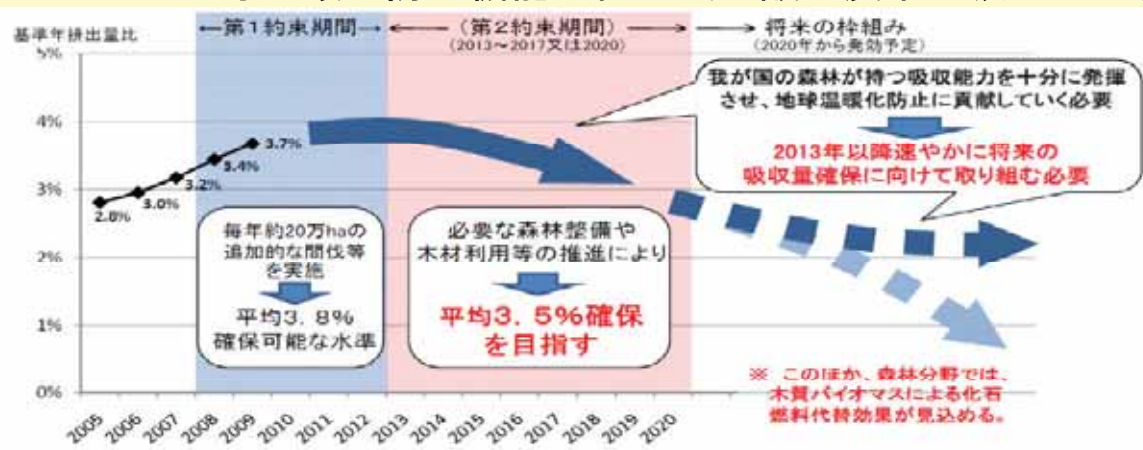


森林整備による森林吸収量の確保の必要性

我が国の森林資源は成熟してきている。



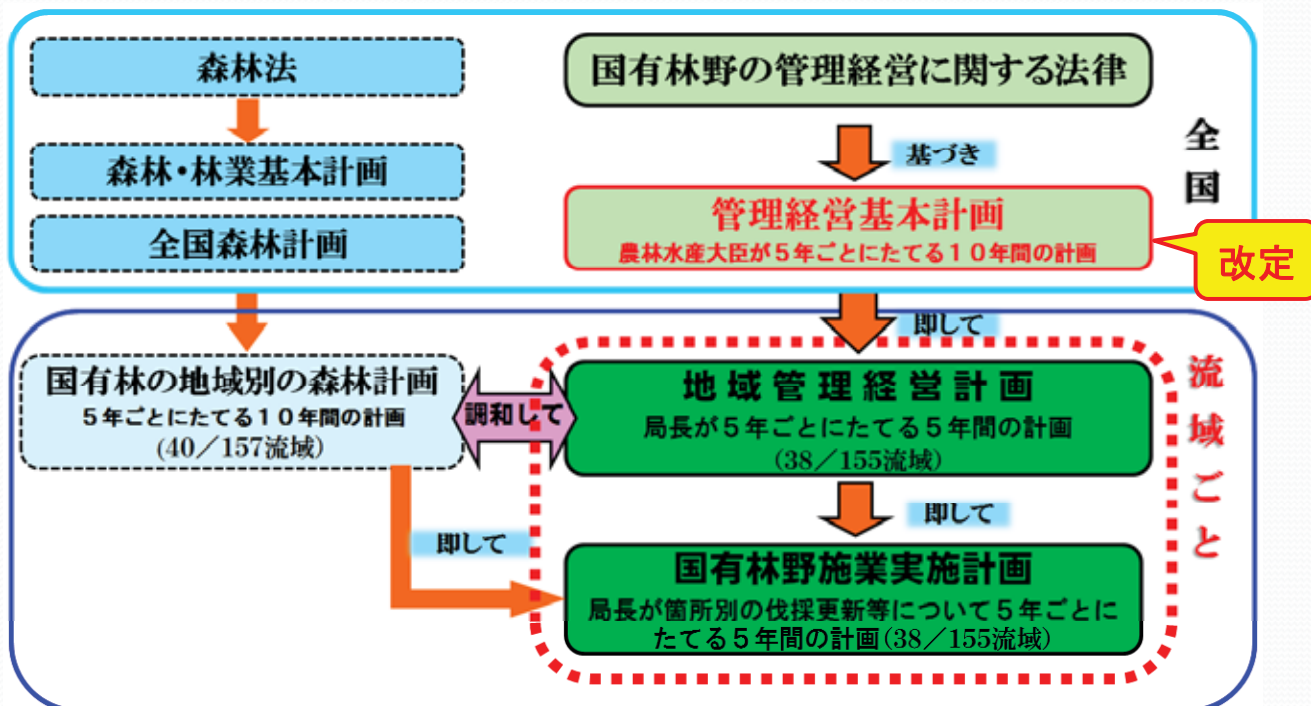
このままでは地球温暖化防止機能が低下（二酸化炭素の吸収量が減少）



間伐とともに、成熟した森林資源を伐採し、利用した上で跡地に再造林を行う「若返り」が求められる。

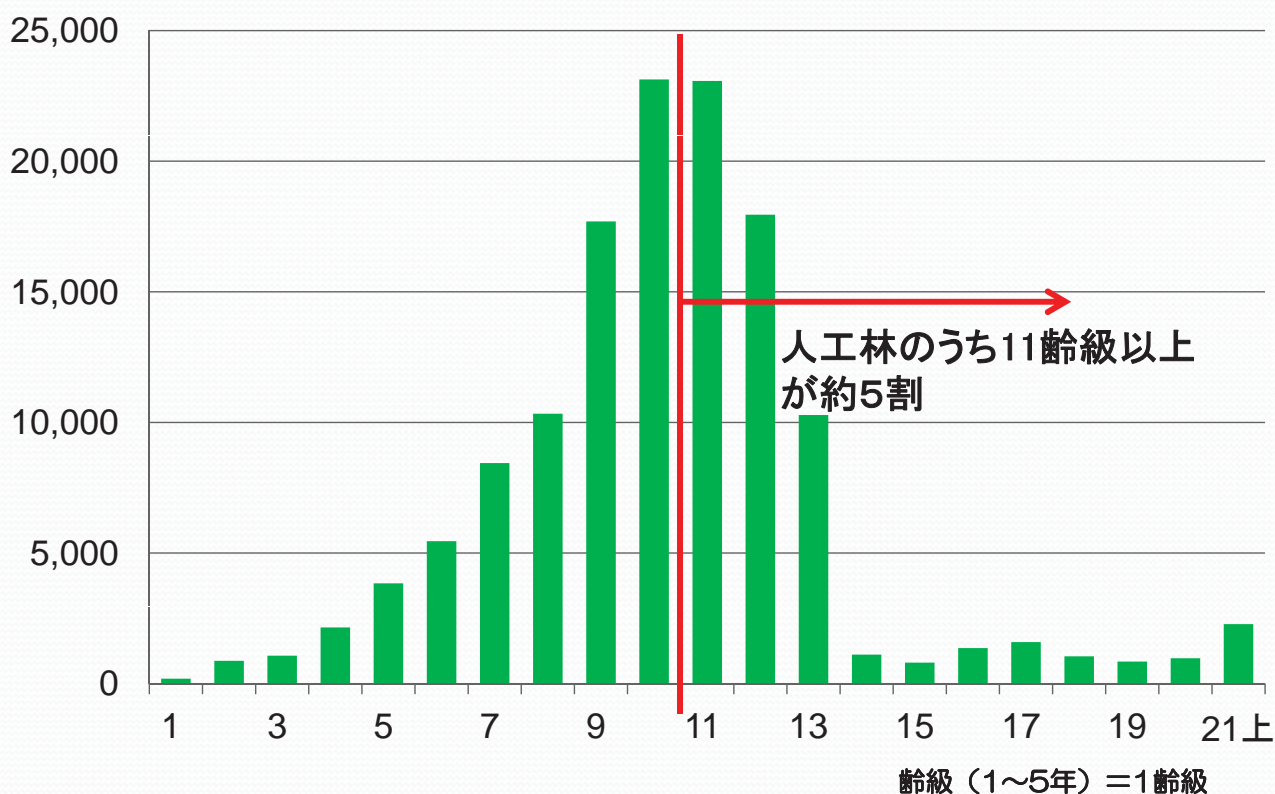
国有林野の管理経営に関する基本計画の見直し

平成25年12月25日に森林吸収源対策、森林の若返り(年齢構成の平準化)、林業の成長産業化を念頭に「国有林野の管理経営に関する基本計画」を改定。



近畿中国森林管理局管内人工林の年齢別面積

単位：ha



人工林の主伐及び更新の取扱いの見直し

現計画	新計画案
公益的機能との調和に配慮し、木材等資源の効率的な循環利用を考慮して、主伐時期の多様化及び長期化を図る。	<u>将来にわたる二酸化炭素の吸収作用の保全及び強化のため、</u> 公益的機能との調和に配慮し、木材等資源の効率的な循環利用を考慮しつつ、 <u>主伐及び主伐後の再造林を推進。</u>

主伐について その1

【公益的機能を重視した森林施業】

1 広葉樹の積極的な導入

- ・伐採・更新・保育段階における積極的な広葉樹の導入。
- ・伐採時において、高木性広葉樹を保残。
- ・潔癖な下刈や除伐を避け、ぼう芽や天然下種によって生育した広葉樹について、植栽木との競合を考慮しつつ、積極的に保残し育成。



主伐について その2

【公益的機能を重視した森林施業】

2 複層林の指向転換

① 帯状・群状伐採による複層林造成への積極的な取組。(作業性・林分の健全性を考慮)

- ・ 帯状: 伐採幅は樹高の2倍程度。(20~40m)
- ・ 群状: 群の大きさはおおむね0.25ha以下。

② 単木伐採法による複層林造成は、景観等への配慮が必要な場合に限る。

※ 複層伐を実施する10年程度前までに、間伐をくり返し実施し、十分な密度管理を行う。



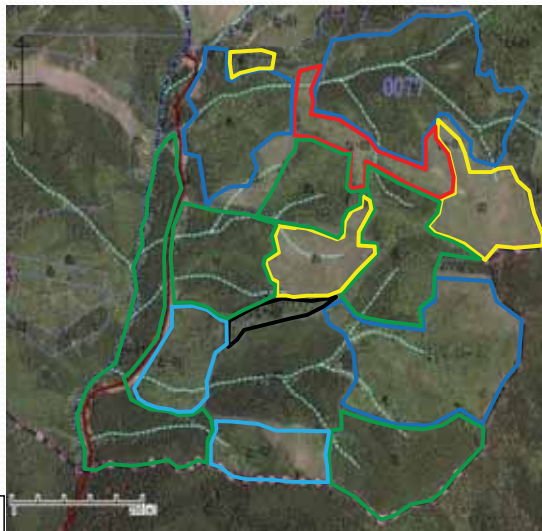
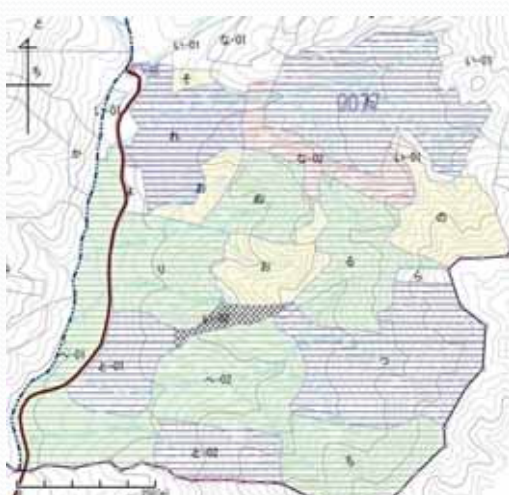
林野庁 近畿中国森林管理局

主伐について その3

【公益的機能を重視した森林施業】

3 一伐採面積の縮小

- ・ 伐採面積の縮小による林地裸地化の抑制。
- ・ 一伐採面積は目標を達成するための更新・生育に支障がない必要最小限とする。



伐採面積は5ha以内とし隣接林分を保残

林野庁 近畿中国森林管理局

民有林と国有林の一体的な管理経営の取組について



民有林と国有林の一体的な管理経営に取り組む背景

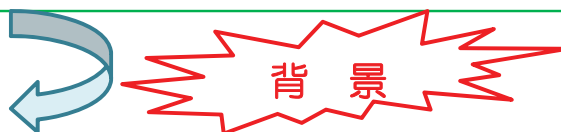
森林・林業基本計画

林業の持続的かつ健全な発展を図るため、次の取組を推進。

- ① 効率的かつ安定的な林業経営の育成
- ② 施業集約化等の推進
- ③ 低コストで効率的な作業システムによる施業の整備・普及および定着
- ④ これらを担う人材の育成・確保等

近畿中国森林管理局（以下「近中局」とする。）管内の林業の課題

- ① 木材需要に応じた安定的な供給
- ② 一定量の事業規模確保
- ③ 作業コスト削減



近中局管内の現状

- ① 森林全体に占める国有林の面積シェアが6%と低く、大半が小面積かつ分散型の配置
- ② 林業事業者の多くが小規模零細であり、高性能林業機械による木材生産など低コスト作業システムの普及・定着に対する意識が低調なレベル

民有林と国有林の一体的な管理経営の検討

将来的に地域の林業・林産業の発展に寄与するため、国有林を核として周辺の民有林で1団地を形成する森林において、地域条件に適合した効率的な作業システムやそれを可能とする路網配置の検討や収支比較を行い、一体的管理経営を目指す取組を各署等で推進。

平成25年度の取組

- ・林業経営モデル林2箇所を設定。
- ①山ノ神谷モデル林（岡山署）
フォワーダによる集材を前提とした作業システムを想定し、周辺の公的森林などを合わせた大規模な団地の管理経営を検討。
- ②宮城川モデル林（和歌山署）
タワーヤード等による集材を前提とした作業システムを想定し、周辺民有林も含めた管理経営を検討。



林業専用道の開設路線の検討
(岡山署山ノ神谷国有林:真庭市)

民有林と国有林の一体的な管理経営の検討

平成26年度の取組

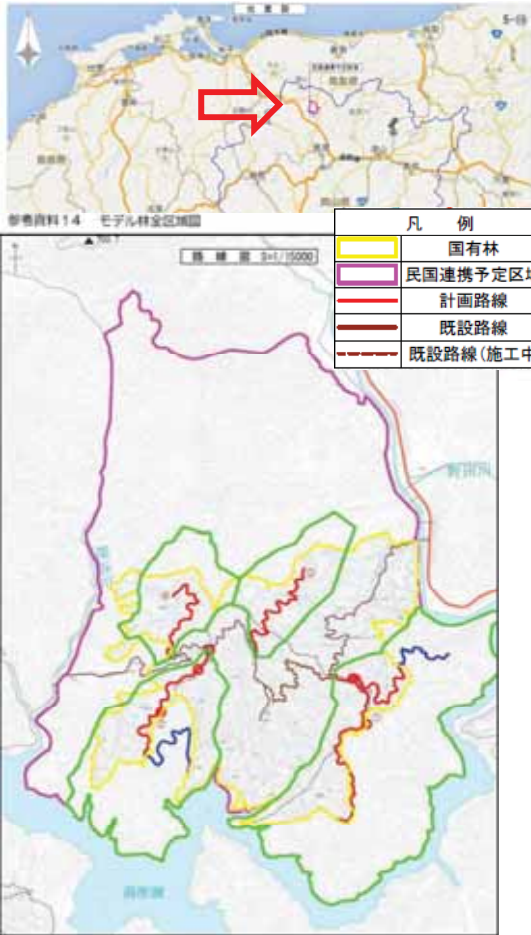
- ・モデル林では、民有林との合意形成、専用道の調査設計、協働による販売、一体的な造林事業発注などを実践。
- ・各署等で、25年度の成果を基に同様の取組を実施。局関係課はもとより、フォレスターが積極的に関与。



検討委員会の開催状況(和歌山署)

林業経営モデル林での検討例1(岡山署(岡山県真庭市))

(25年度設定)



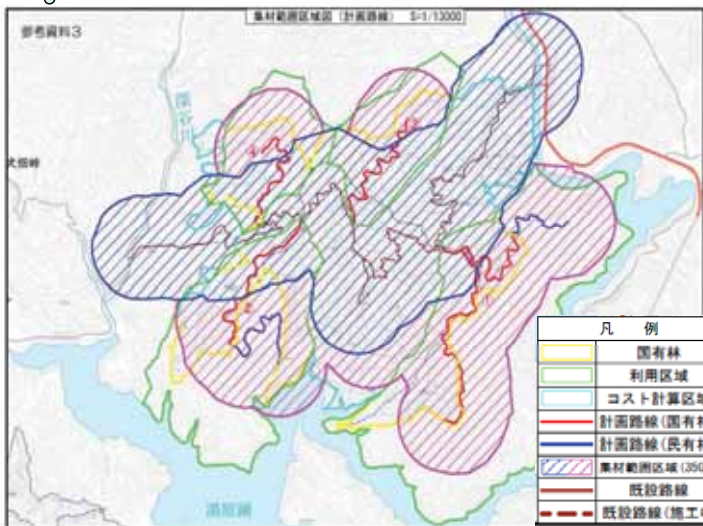
岡山県は積極的に高性能林業機械の普及に取り組み、チェーンソー伐倒→グラップル集材→プロセッサ造材→フォワーダ運材→トラック運搬という車両系作業システムが定着した地域。

近隣の真庭市内には大手製材工場が立地するほか、木質バイオマス発電所が平成27年から稼働予定。今後、新たに10万m³以上もの原木需要が発生することが確実であり、周辺からの木材の安定供給体制の確立が必要。

【検討内容】

- ① 車両系作業システムの採用
- ② フォワーダの運搬距離は直線距離350mの範囲
- ③ 国有林内の林業専用道4路線、主要コントロールポイントの配置、民有林内の路網開設に有効に活用できる林業専用道4路線の線形

民有林・国有林の連携による森林資源利用拡大と地域振興に向けて(岡山署)



【利用可能な森林資源の拡大】(25年度設定)

(生産量:千m³)

	整備前	整備後
間伐量	33	61
主伐量	56	93
計	89	154

増大173%!

【生産コストの縮減】

(円/m³)

	整備前	整備後
主間伐	9,000	5,000

30年間で6億円を縮減、森林に還元!

【事業量・雇用量の増】

(千m³・ha・km・千人日)

	整備前	整備後
事業量		
丸太生産	89	154
造林・保育	255	431
林道新設		8

事業量の大幅な増大とともに、14人の雇用が発生!

	整備前	整備後
雇用量		
丸太生産	12	21
造林・保育	11	19
林道新設		4

モデル林面積1,100ha(民有林600ha、国有林等500ha)
 茶色線:既設林道(予定含む)
 赤色線:国有林路線
 青色線:民有林路線

路網整備により利用可能な森林が拡大、モデル林区域だけでも利益が2.5億円増大

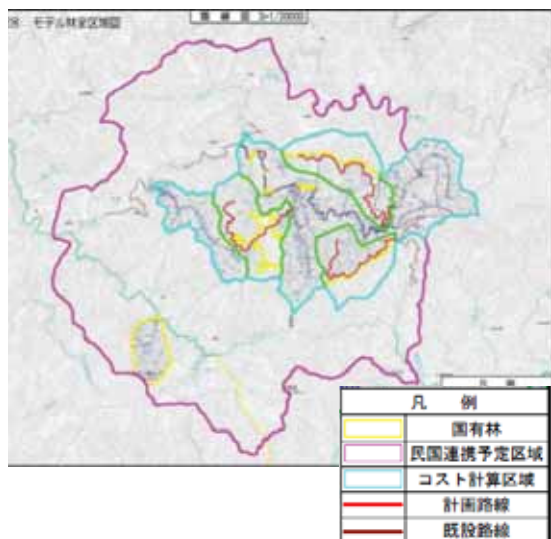
林業経営モデル林での検討例2(和歌山署(和歌山県すさみ町外))

(25年度設定)



和歌山県は、地形が急峻で、路網整備と従来型の架線系作業システムが主流。技術開発の可能性を念頭においた架線系作業システムを検討。

地域材の需要拡大や、場合によっては県域をまたいで合板用材等としての利用を検討するなどの対応が必要と考えられ、今後も継続的な情報収集が必要。



【検討内容】

- ① 架線系作業システムの採用
- ② 直線距離500mの範囲内の作業
- ③ 路網は幹線路網のみで、集材機械の選定は現地の作業条件により判断
- ④ 国有林内の林業専用道3路線、主要コントロールポイントの配置、私有林内の路網開設に有効に活用できる林業専用道3路線の線形

民有林・国有林の連携による森林資源利用拡大と地域振興に向けて(和歌山署)

【利用可能な森林資源の拡大】(25年度設定)

(生産量:千m3)

	整備前	整備後
間伐量	141	172
主伐量	202	245
計	343	417

増大122%!

【生産コストの縮減】

(円/m3)

	整備前	整備後
主間伐	12,000	7,000

30年間で21億円を縮減、森林に還元!

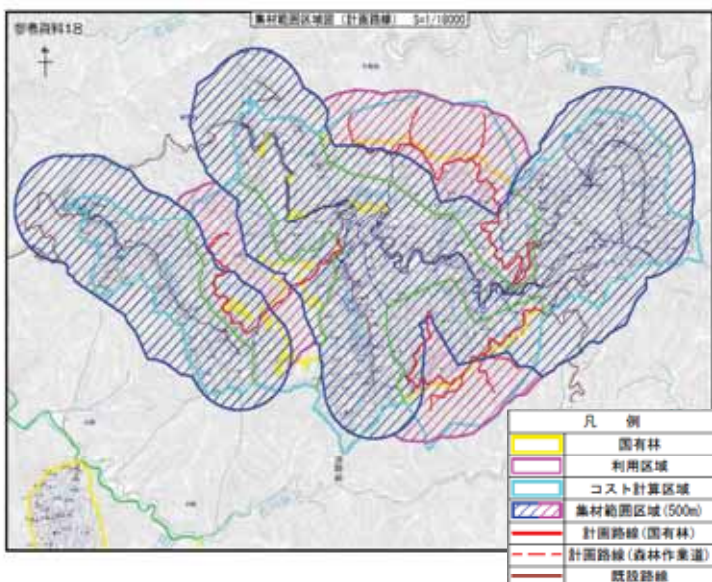
【事業量・雇用量の増大】

(千m3・ha・km・千人日)

事業量	整備前	整備後
丸太生産	343	417
造林・保育	762	933
林道新設		10

事業量の大幅な増大とともに、約34人の雇用が発生!

雇用量	整備前	整備後
丸太生産	86	104
造林・保育	34	42
林道新設		5



モデル林面積3,800ha(民有林2,800ha、国有林1,000ha)

茶色線:既設林道
赤色線:国有林路線
青色線:民有林路線

路網整備により利用可能な森林が拡大、モデル林区域だけでも利益が2.8億円増大

26年度 全署へ取組を拡大：取組の方向性

対象地の現況把握、作業システムの検討、路網の検討

経営上の指標の比較

木材供給量の増大等(出材予測) = 利用可能な森林資源の増、収入増加
→ 事業量の増加、木材の安定供給、生産コストの縮減

地域の経済効果等の検討

木材の供給見通し、地域への経済効果（雇用創出等）

地域関係者へのメリットの提示

（例）木材販売収入、地域の雇用の創出、川下への木材安定供給

民国連携の推進

森林共同施業団地の設定、協調出荷等

地域の実情に応じたきめ細やかな取組をめざして

国有林提案型

- ① 民国連携した路網整備に取り組む
- ② 民国合わせて1,000ha以上の森林面積を確保
- ③ 協調施業等による地域の森林・林業再生へ貢献

作業システムを検討したうえで、民国連携した路網整備や協調施業等による安定供給等に取り組む、地域の森林・林業再生に貢献

※ 民国で連携して前ページの取組を推進する

地域ニーズ支援型

事業量が少ないこと等から、①～③の要件を満たすことが困難な地域

地域の需要に応える木材供給や路網の連結など民有林と連携を図ることにより地域のニーズに応える取組を推進

※ 民国で連携を図りつつ可能な範囲で前ページの取組を推進する

各署等における民国一体の管理経営の取組状況

現在、各森林管理署等において、地域の森林・林業の再生に貢献すべく、民有林との連携を目指し、次の箇所では民国一体の管理経営について取り組むことを検討しているところ。

○現在、民国一体の管理経営を検討している地域（平成27年1月末時点）

署等名	市町村	国有林名
石川	小松市	垂氷 外
福井	南越前町	鉢伏山
三重	桑名市 外	悟入谷 外
滋賀	多賀町	ハツ尾山
京都大阪	綾部市 外	古屋
兵庫	宍粟市	マンガ谷 外
奈良	野迫川村	桧股

署等名	市町村	国有林名
和歌山	すさみ町 外	宮城川
鳥取	若桜町	小舟山
島根	雲南市	三谷
岡山	真庭市	山の神谷 外
広島北部	庄原市	甲野村山
広島	北広島町	鶉木山
山口	山口市	滑山

注：赤字は、25年度に設定した林業経営モデル林の取組をさらに進めている箇所。

青字は、26年度に地域管理経営計画等を策定する箇所。